



平成 29 年 5 月 24 日

社会福祉法人遊佐厚生会
理事長 今野 熊治郎 殿

社会福祉法人遊佐厚生会

監事 阿部 正喜



監事 東海林 和夫



平成 28 年度下半期業務及び決算監査報告書

社会福祉法第 45 条及び本法人定款第 18 条並びに監査細則第 6 条の規定により、上記監査を実施した結果について、監査細則第 10 条の規定により下記の通り報告します。

記

1. 日時及び監査対象

- | | |
|--------------------------|-----------------|
| (1) 平成 29 年 5 月 10 日 (水) | 午前 9 時 於 「月光園」 |
| ①法人本部事業 | |
| ②障がい者支援施設 | 月光園事業 |
| ③障がい者相談センター | 月光園事業 |
| ④多機能型事業所 | ゆうとぴい事業 |
| (2) 平成 29 年 5 月 12 日 (金) | 午前 9 時 於 「ゆうすい」 |
| ①特別養護老人ホーム | ゆうすい事業 |
| ②デイサービスセンター | あいあい事業 |
| ③遊佐町地域包括支援センター | ゆうすい事業 |
| ④ケアプランセンター | ゆうすい事業 |
| ⑤特別養護老人ホーム | にしだて事業 |
| ⑥ケアプランセンター | にしだて事業 |

2. 監査内容

理事の業務執行の状況及び法人の財産の状況

- ①法令遵守 ②定款・諸規程の整備及び遵守 ③事務組織・会計組織
④経費の支出 ⑤固定資産取得・処分及び管理 ⑥計算関係書類及び財産目録
⑦役職員関係

3. 立会者 理事長 今野 熊治郎 事務局長 菅原 聡 月光園園長 加藤 恵津
ゆうとぴい施設長 渋谷 敏一 にしだて施設長 伊藤 宏紀
説明者 月光園園長代理 石垣 等 ゆうすい施設長代理 及川 久美
各業務担当者

4. 監査意見

監査の結果、別表のとおりである。

(別表) 監事監査重点項目

事 項	監 事 意 見	
法人の組織運営状況 (規程、理事会・評議員会)	会議の開催、定款・諸規程の変更整備、会議の議事録、登記関係にかかる簿冊を基に聴取し、適正に行われていることを確認した。	
法人の組織運営状況 (人事・労務管理)	概ね良好に運営されている。職員採用においては、非常に高い倍率での応募状況であることを確認した。尚、加算措置を得るための有資格者人員配置は、経営にも大きく影響を及ぼすと同時に利用者へのサービス向上にも連動するため、職員の健康管理に十分配慮されたい。 質の高い人材確保について、今後とも引き続き努力されたい。	
事業（活動）状況、施設・事業の運営管理状況	関連法の改正や時代の推移の中で、とりまく環境の変化は著しい。改めて、施設の位置づけや今後の方向性を確立するための、現状分析を丁寧に行われたい。特に「ゆうとびい」と「あいあい」においては、対象になりうる分母の状況予測に留意されたい。また、一部施設での感染症対応の推移を聴取したが、今後とも十分な対策を講じられたい。	
福祉サービスの質の向上のための取組状況	施設内外の多くの研修に取り組まれていることを確認した。	
法人及び事業の会計状況	会計帳簿の状況	経理規程に定められた方法によって、主要簿・補助簿は拠点ごとに適正に作成されていることを確認した。
	予算の編成状況	経理規程に定められた方法によって、予算の編成・執行状況は適正に作成・管理されていることを確認した。
	出納・財務の状況	経理規程に定められた方法によって、会計伝票・月次試算表・残高等適正に行われていることを確認した。
	契約状況 (契約方法、入札方法)	経理規程に定められた方法によって、適正に契約・入札が行われていることを確認した。
	資産の管理状況	経理規程に定められた方法によって、適正に管理されていることを確認した。
	拠点区分間及びサービス区分間の資金異動状況	経理規程に定められた方法によって、適正に行われていることを確認した。
	決算書類の作成状況	計算関係書類及び財産目録は、適正に作成・管理されていることを確認した。
	法人の財務状況等	当期の経常増減差額は、36,593千円で前年対比72.7%で次期繰越活動増減差額は959,001千円となっている。
その他		

平成28年度下半期業務及び決算業務の財務状況の添付資料

1. 当期活動増減差額		36,584,933 円
障がい者施設拠点区分		42,291,682 円
介護保険施設ゆうすい等拠点区分		3,150,125 円
介護保険施設にしだて拠点区分		▲8,856,874 円
2. 当期積立金取崩額		37,000,000 円
介護保険施設ゆうすい等 拠点区分		37,000,000 円
3. 当期積立金積立額		100,000,000 円
障がい者施設拠点区分		53,000,000 円
介護保険施設ゆうすい等 拠点区分		47,000,000 円
4. 次期繰越活動増減差額		959,000,967 円
障がい者施設拠点区分		268,815,678 円
介護保険施設ゆうすい等 拠点区分		318,868,928 円
介護保険施設にしだて拠点区分		371,316,361 円
5. 純資産について		
① 基本金		165,050,000 円
② 国庫補助等特別積立金		935,593,833 円
③ その他の積立金		733,100,000 円
④ 次期繰越活動増減差額		959,000,967 円
6. 固定資産について		
① 期首残高 (帳簿価額)		1,943,844,801 円
② 当期増加額 (帳簿価額)		20,301,052 円
③ 当期減少額 (帳簿価額)		7,596 円
④ 当期減価償却額 (帳簿価額)		124,550,884 円
⑤ 期末帳簿価額 (①+②-③-④)		1,839,587,373 円
⑥ 減価償却累計額		1,539,428,491 円
⑦ 期末取得原価 (⑤+⑥)		3,379,015,864 円
	当期の資産取得は、建物1件、車両及び運搬具1件、器具及び備品21件、リース資産1件。	
7. 寄附金収益		
○障がい者施設	11 件	391,800 円
○介護保険施設ゆうすい等	4 件	114,000 円
○介護保険施設にしだて	2 件	50,000 円